

はじめに

「クリーン仙台推進員」・「クリーンメイト」の皆さまは、市と地域の皆さまの架け橋となっただき、ごみの減量・リサイクルの推進などを周知、啓発していただくほか、皆さまがお住いの地域の環境美化に取り組んでいただく地域のリーダーです。

仙台市では、「“杜の都の資源”を次の世代へ 持続可能な資源循環都市をめざして」の考えのもと、令和3年度から仙台市一般廃棄物処理基本計画を策定し、令和12年度までに1人1日あたりの家庭ごみ排出量を400グラムまで減らすことや、家庭ごみに占める資源物の割合を30%まで引き下げること目標として掲げています。

令和3年度に仙台市が行った家庭ごみの調査では、家庭ごみとして出されたもののうち、42%が「紙類」・「プラスチック製容器包装」など分別すれば資源としてリサイクルできる資源物という結果となりました。

仙台市では、さらなるごみ減量・リサイクルに向けて、令和5年4月から、これまで焼却処理されていた製品プラスチックを資源として収集し、リサイクルする事業を開始しています。今までは同じプラスチック素材でも容器包装以外のは「家庭ごみ」への分別をお願いしておりましたが、プラスチック素材100%の製品であれば、「プラスチック資源」として出せるようになりました。プラスチックの分別・リサイクルを進めることは、資源の有効利用のみならず、海洋プラスチックの削減や地球温暖化対策の観点からも重要です。

ごみの適正な排出や減量・リサイクルを推進するためには、分別・リサイクルの必要性や正しい分別方法などを地域の方々に知ってもらうことが大切であり、推進員・メイトの皆さまにおかれましては、地域の状況に合わせた取り組みをお願いしたいと考えております。

この手引きは、推進員・メイトの皆さまが、地域の活動を続けていく際の参考としていただくために作成したものです。活動していくうえでよくある質問や地域特性に合った活動の工夫をされている事例等を掲載いたしましたので、ご活用いただければ幸いです。

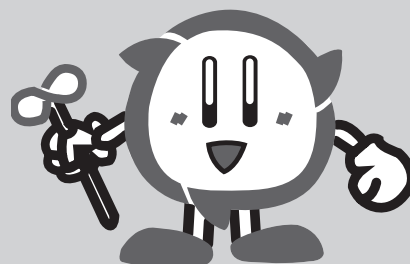
今後も、推進員・メイトの皆さまと力を合わせて、さらなるごみ減量・リサイクルに取り組んでまいりますので、引き続きご協力をお願いいたします。

令和5年7月

ごみ減量・リサイクル推進啓発キャラクター「メビウスちゃん」

リサイクルマークをモチーフとした「メビウスちゃん」は、平成7年9月、一般公募によって生まれました。再生のシンボルが歩き出した姿をイメージし、右手には無限（無限の再生）を意味するメビウスの帯を象徴した杖を持っています。

メビウスちゃんは、ごみ減量・リサイクルを目指すクリーン仙台推進員・クリーンメイトのベストのデザインや情報誌の名称にも使われています。



目 次

第Ⅰ章 クリーン仙台推進員制度の概要

1 目的	1
2 クリーン仙台推進員・クリーンメイトの委嘱	1
3 主な活動内容	3
4 推進員活動における市の支援	5

第Ⅱ章 仙台市のごみ減量の目標と取り組み

1 仙台市一般廃棄物処理基本計画について	9
2 データでみる仙台市のごみと資源物の状況	10
3 資源とごみの分け方・出し方に関するよくある質問	11

第Ⅲ章 活動事例紹介

1 推進員活動のすすめ - 地域住民への働き掛け方はいろいろ	20
2 活動知恵袋	24
3 活動事例（保存版）	26

資料集

1 クリーン仙台推進員設置要綱	44
2 クリーン仙台推進員永年勤続表彰要綱	45
3 クリーン仙台推進員制度のあゆみ	46
お問い合わせ先一覧	47
推薦書等（様式）	48

※本誌では、クリーン仙台推進員を「推進員」、クリーンメイトを「メイト」、ごみ集積所を「集積所」と記載します（表題を除く）